



今年もヤ・シーパークは、約2万人の来場者で賑わいました。  
会場中央では、350年余の歴史を持つという、伝統の奥深さを感じさせる優美な踊りが披露され、観客はうっとりとお見入っていました。また、名物の水中花火と夜空に上がる花火の協演に、砂浜やボードウォークを埋め尽くす観客から、大きな歓声と拍手が沸き上がっていました。



今年から2日間の開催となった「香南市みなこい港まつり」開催が危ぶまれた2日目は、激しく降る雨でイベントを中断するハプニングもありましたが、日中は漁協で行われたうなぎつかみに、子どもたちがにぎわいました。また、降り止まない雨に、観客をステージに上げて沖繩のバンド「バーボンス」がコンサートをする場面もあり、予期せぬ一体感に盛り上がりました。小雨になってきたころには、熱気あふれる「よさこい踊り」と、市の姉妹都市沖繩県八重瀬町から、勇壮な踊り「エイサー」と歓喜の舞「力チャーシー」が披露され、観客を魅了しました。  
最後に飾る花火になると雨もあがり、約4千発の花火が、夜空を彩り、観客から歓声が上がっていました。



手結盆踊り 8月15日(土)

毎年この時期に帰省する踊りに踊りについて取材しました interview VOL.4

親せきや知り合いに誘われて小学校1年生から踊り始めた3人。  
『こっぴ』『くるす』『みあい』『花取り』4つある踊りの中で一番好きな踊りは、3人とも『花取り』で『ゆっくり』としたリズムが、追いつけるようにテンポが早くなるのが好きです。紅白のサイを持って力強く足拍子を踏み、リズムカルに舞うところをお客さんに見てもらいたいです」と目を輝かせていました。  
地元以外に、遠く離れたまちから集まる踊り子たち。郷土を離れたまから集まるこの踊りを、後世に伝えようとする熱い情熱が、踊り子たちの舞う姿から感じられました。



昭和46年 旧手結海水浴場遊園地にて

本多響子さん(13歳) 神奈川県在住

多田愛花さん(13歳) 広島県在住

野本 麗さん(13歳) フランス在住

みなこい港まつり 7月25日(土)・26日(日)

富盛青年会の踊り子にお祭りの印象を聞きました interview VOL.3

『エイサー』は、沖繩でお盆の時期に踊られる伝統芸能です。各地の青年会の男女が、大鼓や三味線の鳴り物にあわせ隊列を組んで踊ります。青年会ごとに踊りはさまざまで、沖繩のお祭りやイベントなどで見ることができます。『力チャーシー』は、沖繩を代表する手踊りで、祝い事などに踊られます。



森田梨美子さん(25歳) 沖縄県在住

沖繩から初参加しました 私たちは、沖繩県八重瀬町から来た富盛青年会です。  
このお祭りの印象は、たくさんのお店がひしめきあってお店の人やお客さんの活気が祭りを一層盛りあげているように感じました。よさこい踊りも、沖繩のエイサーが各地域で衣装や踊りが異なるように、それぞれの特徴があって見応えがあり、鳴子を使った踊りも可愛いらしさがあって良かったです。また、雨の中でもお客さんが傘をさしてまで観てくれたことは、踊り手としてうれしかったし、このお祭りは、地元の応援に支えられてやっているように感じました。

森田絵梨子さん(25歳) 沖縄県在住